

UNIVERSAL
LANGUAGE



THE SUIT COMPANY

INTERIM REPORT 2015

第52期中間株主通信

2015年4月1日から2015年9月30日まで



洋服の青山

AOYAMA TAILOR
SINCE 1964



NEXT BLUE

UPDATED TRENDS & FUNCTIONS

CALAJA
CASUAL LAND JAPAN

BG

Blue & Grigio

BY UNIVERSAL LANGUAGE

 青山商事株式会社

[証券コード: 8219]

「CHALLENGE 2017」がスタート！

株主の皆様におかれましては、日頃より青山商事グループに対し格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当中間期の青山商事グループの業績は、中核事業でありますビジネスウェア事業において、前年の消費税影響による苦戦に対し、今年はスーツ、礼服、レディスなどが好調に推移したことから増収増益となりました。

また、2015年1月に発表した3カ年中期経営計画「CHALLENGE 2017」については、現在その達成に向けグループを挙げて取り組んでおり、コア事業であるビジネスウェア事業の安定成長とともに、カジュアル事業、飲食事業、新規事業及び海外事業など事業領域の拡大を図ってまいります。今後も当社グループは、新たな経営理念である「持続的な成長をもとに、生活者への小売・サービスを通じてさらなる社会への貢献を目指す」の実現に向け、役職員一同心を一つにチャレンジしてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長兼執行役員社長

青山 理



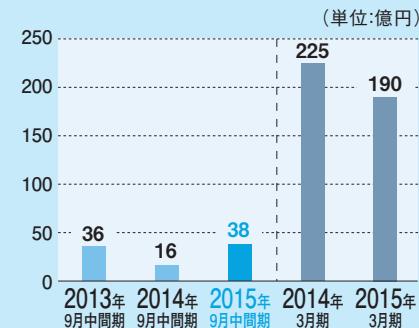
連結財務ハイライト

売上高



(注) 金額は単位未満を切り捨てています。

営業利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



Q1

上半期の業績を教えてください。

前年の消費税影響からの着実な回復

当上半期の当社グループの業績は、売上高が前年同期比110.3%の988億53百万円、営業利益は前年同期比235.2%の38億73百万円となりました。主力の青山商事㈱ビジネスウェア事業については、ショッピングセンター内を中心とした着実な出店、移転等を実施するなどマーケットシェア拡大を図るとともに、「洋服の青山」において、800店舗突破を記念した『総力祭』、『青山祭』を実施したことに加え、前年消費税増税に伴う駆け込み需要の反動により売上高が減少したことなどから、既存店売上高は前年同期比105.0%となりました。

なお、4月から9月までの6か月間のメンズスーツの販売着数は前年同期比100.4%の782千着となり、平均販売単価は27,803円となりました。店舗につきましては、当上半期までに「洋服の青山」において5店舗出店（内1店舗移転）し、「ユニバーサルランゲージ」においてアウトレットを含む2店舗出店しました。

Q2

下半期の見通しについて教えてください。

中期経営計画達成に向けた諸施策を実施

下半期については、中期経営計画「CHALLENGE 2017」の達成に向け、引き続きビジネスウェア事業を中心とした各事業における成長戦略を実施していきます。

具体的には、中核事業でありますビジネスウェア事業については、着実な出店、移転等を実施し、マーケットシェア拡大を図るとともにレディス、法人部門やEC等の売上拡大を図ります。

その他、カジュアル事業における「アメリカンイーグルアウトフィッターズ」や飲食事業における「焼肉きんぐ」等の積極的な出店なども実施していきます。



洋服の青山 新蒲郡店

配当に関する基本方針及び当中間期の配当

株主還元方針

中期経営計画期間中（2015年度から2017年度まで）の方針	
株主還元方針	連結総還元性向130%を目処とする。
配当方針	当社連結の親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向70%を目処とする。具体的には、安定的な配当として普通配当100円（中間50円、期末50円）とし、配当性向70%を目処に計算した配当が100円を上回る場合は、その差を業績連動配当として期末に特別配当を実施する。
自己株式取得方針	当社連結の親会社株主に帰属する当期純利益の130%から配当総額を引いた金額を目処に自己株式の取得を行う。

2016年3月期 中間配当

中期経営計画期間中（2015年度から2017年度まで）の配当方針に従い、
2016年3月期中間配当は、**安定配当50円**をお支払いします。

財務 TOPICS

自己株式の取得を実施

中期経営計画「CHALLENGE 2017」及び「株主還元方針に関するお知らせ」に定めております株主還元方針に則り、株主還元のさらなる強化の一環として、2016年3月期については、5月に48万900株、8月に30万100株の自己株式の取得を実施しました。

自己株式の消却を実施

2015年7月14日に普通株式600万株（消却前の発行済株式総数（自己株式を含む）に対する割合9.77%）の消却を実施しました。

SPONSORSHIP

「洋服の青山」では、福岡ソフトバンクホークスやラグビー15人制男子日本代表チームを始めとした団体、チームに「オフィシャルチームスーツ」、「スーツサプライヤー」として、スーツやシャツ、ネクタイなどを提供し、サポートしています。



ラグビー15人制男子日本代表チーム

監督、コーチ、選手などが遠征時に着用する【スーツサプライヤー】としてスーツを提供しています。



福岡ソフトバンクホークス

監督、コーチ、選手などが遠征時に着用する【オフィシャルチームスーツ】としてスーツを提供しています。



北海道日本ハム ファイターズ

監督、コーチ、選手などが遠征時に着用する【オフィシャルチームスーツ】としてスーツ・シャツ・ネクタイを提供しています。



サンフレッチェ広島

監督、コーチ、選手などが遠征時に着用する【オフィシャルチームスーツ】としてスーツ・シャツ・ネクタイを提供しています。また、セレモニーで着用するタキシードも提供しています。



ヴィッセル神戸

監督、コーチ、選手などが遠征時に着用する【オフィシャルチームスーツ】としてスーツ・シャツ・ネクタイを提供しています。

出店戦略

STRATEGY
- 会社の戦略 -

既存店の大規模リニューアル進む ショッピングセンター SC内や、駅前小型店への出店も拡大

Tactics 1 | ショッピングセンター SC内や駅前小型店の出店を継続

「洋服の青山」については引き続きSC内や一都三県の駅前小型店の出店を進めており、当上半期では、イオンモール桑名店（三重県）や柏東口店（千葉県）を出店しました。また、既存店舗の移転を継続して進めており、区画整理や道路事情の変化、大型SCの出店などにより商圈が大きく変化した店舗については、さらなる売上の見込める立地へ移転することで売上アップを図っています。当上半期では千葉県の大型複合施設に「洋服の青山」ハーバーシティ蘇我店として移転開店し、好調に推移しています。



洋服の青山 イオンモール桑名店



洋服の青山 ハーバーシティ蘇我店



洋服の青山 柏東口店

Tactics 2 | 外国人観光客に対する売上増加策の実施

政府の訪日外国人観光客増加策や円安等により、当社の一部店舗においても、外国人観光客、特に中国人のお客様の購買が増加しています。こうした外国人観光客の取り込みを図るため、免税店舗の拡大(2015年9月末現在「洋服の青山」83店舗、「TSC業態」54店舗、「リーバイスストア事業」2店舗の計139店舗)や、外国人観光客向けのフリーペーパーへの広告掲載等実施するとともに、店内においては、外国人販売員の配置や、多言語で対応できる接客支援ツールの設置、接客マニュアルの作成などを実施しています。今後もこうした訪日外国人観光客への販促強化及び店内における販売支援体制の強化を図り、さらなる売上増加を図っていきます。



免税店ロゴ

「アメリカンイーグルアウトフィッターズ」が好調に推移

当社が国内でフランチャイズ展開している米カジュアルブランド、「アメリカンイーグルアウトフィッターズ」は、当上半期、コクーンシティ店（埼玉県）など大型SC内やアウトレットモール内に5店舗を出店し、2015年9月末で23店舗となり、順調に業績を伸ばしています。

当社グループの中期経営計画「CHALLENGE 2017」における成長戦略の一つとして、出店を拡大しさらなる売上拡大を図っていきます。



アメリカンイーグル
アウトフィッターズ
コクーンシティ店

特集

CHALLENGE
2017

青山イズムの真骨頂を発揮し、 2017年には売上高130億円を目指します —— (株)glob 古市誉富社長に聞く

青山商事は中期経営計画「CHALLENGE 2017」において、事業領域の拡大を掲げており、その大きな柱となるのがFC（フランチャイズ）を活用した飲食事業。青山100%出資の連結子会社として飲食事業を展開する(株)globの古市誉富社長に、飲食ビジネスのビジョンと将来性について伺いました。



青山商事株式会社
執行役員 兼
株式会社glob 代表取締役社長

古市 誉富

—— 飲食事業を開始した経緯を教えてください。

「飲食事業は、『洋服の青山』が持つ大型駐車場などの余剰地活用からスタートしました。利益が出せる新事業を模索する中で、基幹事業であるビジネスウェア事業の業績を妨げることなく、営業の時間軸が夜になるディナー中心の飲食業が最適と判断。まったくの新分野への参入なのでFCによる事業展開を決定し、事業に大きな伸びしろがあり、かつ青山商事の企業理念に共鳴できるパートナーを徹底的に探しました。そして、現在東証一部に上場し、全国に4業種10業態（国内）の店舗を展開する(株)物語コーポレーションと契約を結び、『焼肉きんぐ』の出店を進めることにしたのです。」



焼肉きんぐ 砺波店

—— 焼肉業界と他社との差別化について教えてください。

「焼肉業界の市場規模は5,200億円に達します。その中でglobでは2011年に1号店をオープンして以来、順調に店舗

を増やし、2016年3月末までには23店舗となる予定です。他社との差別化については、『焼肉きんぐ』では食べ放題のテーブルオーダーバイキングを採用し、お客さま一人ひとりが“食べたいもの”を“食べたい時”に“食べたい量”だけ注文することができます。また、『焼肉きんぐ』では食材をセルフで持つてくるのではなく、あえて従業員がテーブルまで運ぶスタイルをとっています。接客をすることで、お客様により楽しんでいただきたいという思いからこのスタイルにしています。そのため、スタッフの数を増やさざるを得ず、人件費がかさみますが、このように他社が二の足を踏むようなことを敢えて行うことで、他社との差別化を図っています。それによって、お客さまが幸せと感じるサイクルを作り出しています。」



——「焼肉きんぐ」に続いて、寿司、しゃぶしゃぶ、天ぷら食べ放題の「ゆず庵」をスタート。この新業態の狙いについて教えてください。

「青山商事グループの中期経営計画『CHALLENGE 2017』の中で、飲食事業の拡大が成長戦略の1つとなり、当社もこれまでの出店方針を変更し、単独出店を含め出店していくことになりました。これによって『洋服の青山』の時間軸を気にすることなく平日のランチが提供でき、家計を握る主婦層のファン取り込みも行えます。加えて、もともとこの業界は、シニア層を加えた3世代をターゲットとしており、さらなる顧客層の拡大を図れると考えています。」

——青山商事グループの中期経営計画「CHALLENGE 2017」において、(株)globは最終年度である2017年度までに



50店舗、売上高130億円を目標とされていますが、課題はありますか。



ゆず庵 甲府国母店

「中期経営計画達成に向けての最大の課題は、人材の採用と育成です。年間10店舗以上出店していく必要があり、そのための人員確保と人材育成は大きな課題です。『焼肉きんぐ』では1店舗につき社員4名とパート・アルバイト40～50名、『ゆず庵』では社員5名とパート・アルバイト60～80名が必要になります。そこで青山商事のブランドを活用し、グループを挙げて採用に取り組める仕組みづくりに現在着手しています。人材育成については、物語コーポレーションの教育システムに参加させ、飲食サービスのスペシャリストを育てています。」

2017年に売上高130億円を達成できれば、売上高200億円はすぐ目の前。外食産業は約25兆円という大きな市場を有しています。高い目標を掲げ、新しいことへ果敢にチャレンジする青山イズムの真骨頂を發揮し、ビッグビジネスを創り上げたいと思います。」

—— (株)物語コーポレーション ——

1949年愛知県豊橋市にておでんや「酒房源氏」として創業。1997年に会社名を「物語コーポレーション」に変更し食べ放題店「焼肉きんぐ」を主力とした直営・FCで郊外に出店し2011年には東証一部に上場。全国に4業種10業態（国内）の直営・FC合わせ333店舗を展開（2015年6月期現在）。2014年1月に焼肉きんぐ100店舗目を出店し、テーブルバイキング日本一の店舗数を達成。

1 「AOYAMA PRESTIGE TECHNOLOGY」 第5弾はストレッチ機能スーツ

当社は、「スーツに進化を。」のスローガンのもと、高機能性商品の開発を強化するとともに、これらの商品を「AOYAMA PRESTIGE TECHNOLOGY」として訴求を強化。これまでに、EXILEのボーカルTAKAHIROさんや三代目 J Soul Brothersのボーカル登坂広臣さんや今市隆二さんなど様々なメンバーを起用し、認知度向上を図ってきました。今年10月に放送を開始したCM第5弾には、EXILEのパフォーマーとして活躍する、橘ケンチさん、黒木啓司さん、TETSUYAさんが登場しました。「進化したストレッチ

チスーツ」を着用した3名が、EXILEの楽曲をバックに特設ステージで躍動感あふれるダンスを披露。体にフィットするシルエットでありながら、激しい動きでも窮屈さを感じさせないストレッチスーツの高機能性を訴えるものとなっています。

これからのキャンペーンもEXILE TRIBEの全面協力のもと、「洋服の青山」で販売する高機能性商品の打ち出しを強化していきます。



左からEXILE 黒木啓司さん、TETSUYAさん、橘ケンチさん



EXILE TAKAHIROさん



三代目 J Soul Brothers 登坂広臣さん

2 ラグビー15人制男子日本代表チームの公式スーツレプリカを360着限定で販売

今秋にイングランドで開催されたラグビーW杯に出場し、世界の強豪チームを相手に大活躍して日本中を沸かせたラグビー日本代表チーム。当社はそのラグビー日本代表チームの選手やヘッドコーチが、公式行事や渡航時に着用していた公式スーツのレプリカ版を10月から「洋服の青山」50店舗と「洋服の青山オンラインストア」にて限定販売しています。

このスーツは当社の最高級ブランドである「HILTON(ヒルトン)」をベースにしており、ジャケットに薄い肩パッドを採用し、軽い着心地を実現しているのが特徴です。ジャケット襟裏のカラークロス部分には、日本代表のマークである桜をモチーフにしたプリントを施しているほか、内ポケットの縁取りなどの装飾部分には日本代表のイメージカラーである赤を採用するなど、デザイン面でも特別な仕様となっています。



3 中国語圏最大級のソーシャルメディアに「洋服の青山」の公式アカウントを開設

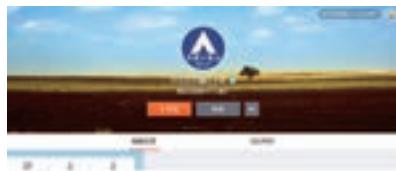
中国語圏最大級のソーシャルメディアである『Weibo (ウェイボ)』と中国版のLINEともいえる『Wechat (ウイチャット)』に「洋服の青山」の公式アカウントを開設し、2015年

10月1日から運用をスタートしました。

近年、中国からの訪日観光客が「洋服の青山」に来店

するケースが増え、その売上は目標比約120% (8月末実績) と好調に推移しています。この公式アカウントでは商品情報やキャンペーン、免税店周辺の地域情報などを発信するほか、来店を促進するキャンペーンも展開する予定です。

「洋服の青山」は、現在上海・台湾を中心に20店舗以上出店しており、中国語圏の消費者にソーシャルメディアを通じて直接情報提供することで、日本国内外の店舗双方での来店客増を目指します。



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

	第52期 (2015年9月第2四半期末)	第51期 (2015年3月期末)
資産の部		
流動資産	163,457	185,457
固定資産	168,109	165,086
有形固定資産	108,278	106,132
無形固定資産	3,722	3,507
投資その他の資産	56,108	55,446
繰延資産	181	208
資産合計	331,748	350,752
負債の部		
流動負債	46,212	61,771
固定負債	50,889	50,911
負債合計	97,102	112,683
純資産の部		
株主資本	245,944	250,186
資本金	62,504	62,504
資本剰余金	62,527	62,526
利益剰余金	124,212	144,626
自己株式	△ 3,299	△ 19,470
その他の包括利益累計額	△ 13,792	△ 14,583
その他有価証券評価差額金	1,813	1,130
繰延ヘッジ損益	2	28
土地再評価差額金	△ 16,146	△ 16,242
為替換算調整勘定	468	444
退職給付に係る調整累計額	69	55
新株予約権	8	13
非支配株主持分	2,485	2,453
純資産合計	234,646	238,069
負債純資産合計	331,748	350,752

（注）金額は単位未満を切り捨てています。

四半期連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

	第52期 (2015年9月第2四半期)	第51期 (2014年9月第2四半期)
売上高	98,853	89,641
売上原価	42,682	39,079
売上総利益	56,171	50,562
販売費及び一般管理費	52,297	48,915
営業利益	3,873	1,646
営業外収益	1,056	1,467
営業外費用	703	465
経常利益	4,226	2,648
特別利益	11	189
特別損失	370	508
税金等調整前四半期純利益	3,867	2,329
法人税等	1,516	1,056
四半期純利益	2,350	1,272
非支配株主に帰属する四半期純利益	60	38
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,290	1,234

（注）1.金額は単位未満を切り捨てています。

2.会計方針の変更に伴い、これまでの四半期純利益から親会社株主に帰属する四半期純利益に表示の変更を行うとともに、第51期（2014年9月第2四半期）につきましては組替えを行っております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

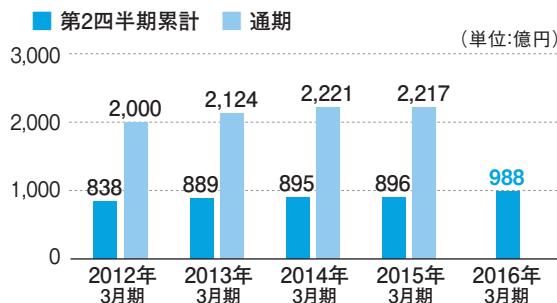
（単位：百万円）

	第52期 (2015年9月第2四半期)	第51期 (2014年9月第2四半期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,657	△ 11,101
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,316	9,899
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,330	△ 5,808
現金及び現金同等物に係る換算差額	44	46
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 14,628	△ 6,962
現金及び現金同等物の期首残高	37,991	29,758
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,363	22,795

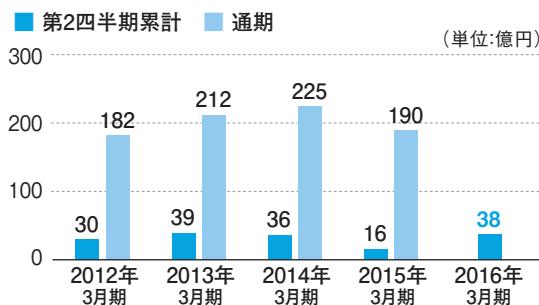
（注）金額は単位未満を切り捨てています。

業績推移

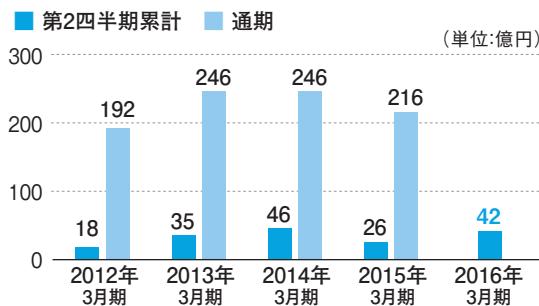
連結売上高



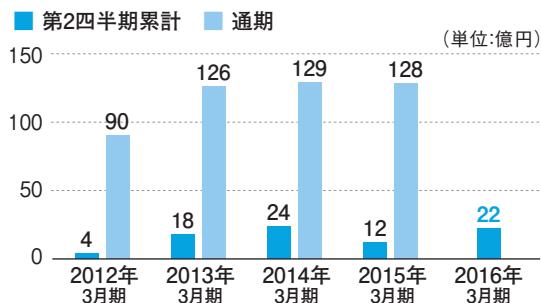
連結営業利益



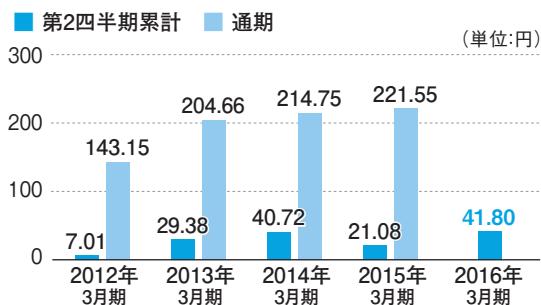
連結経常利益



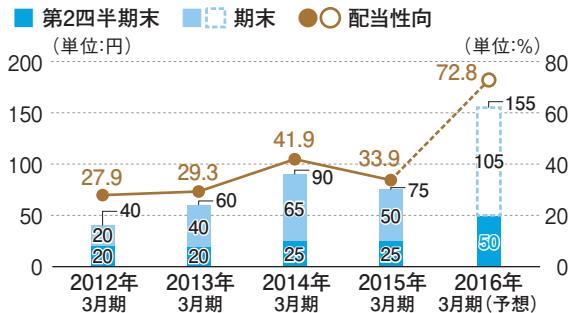
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益



1株当たり四半期（当期）純利益



1株当たり配当金・配当性向



■ セグメント別業績



(注) 各セグメント別の売上高構成比率は、グループ間取引を相殺消去後の売上高にて算出しております。

ビジネスウェア事業

青山商事(株)ビジネスウェア事業 / ブルーリバーズ(株) / (株)エム・ディー・エス / (株)栄商 / 服良(株)

「洋服の青山」を中心に、紳士服専門店業界 NO.1 の販売実績を誇る当社グループの中核事業です。

当事業の売上高は738億78百万円（前年同期比107.0%）、セグメント利益（営業利益）は26億34百万円（前年同期比269.7%）となりました。当事業の中核部門であります青山商事(株)のビジネスウェア事業につきましては、ショッピングセンター内を中心とした着実な出店、移転等を実施するなどマーケットシェア拡大を図るとともに、「洋服の青山」において、800店舗突破を記念した『総力祭』、『青山祭』を実施したことに加え、前年、消費税増税による駆け込み需要の反動などにより売上高が減少したことなどから、既存店売上高は前年同期比105.0%となりました。

なお、4月から9月までの6ヶ月のメンズスーツ販売着数は前年同期比100.4%の782千着となりました。平均販売単価は前年同期比106.6%の27,803円となりました。

■ ビジネスウェア事業の商品別売上高

(単位：百万円)

		前第2四半期	当第2四半期	
		金額	金額	比較増減
重衣料	スーツ・スリーピース	20,371	21,793	1,422
	ジャケット	2,741	2,798	56
	スラックス	5,487	5,372	△ 115
	コート	207	267	60
	フォーマル	9,456	10,546	1,089
軽衣料	シャツ・洋品類	12,269	12,704	434
	カジュアル類	3,294	3,175	△ 119
	その他商品	4,841	4,892	50
レディース類		6,966	8,959	1,992
ポイント還元額		1,138	1,211	72
補正加工賃		1,239	1,411	171
合 計		68,014	73,131	5,117

(注) 1.その他商品は、靴、肌着、雑貨等です。

2.レディース類には、レディススーツ、レディスフォーマル、レディス洋品類、パンプス等が含まれています。



カジュアル事業

青山商事(株)カジュアル事業 / (株)イーグルリテイリング

青山商事(株)カジュアル事業は、「キャラジャ」、「リーバイスストア」を、(株)イーグルリテイリングは、米国アメリカンイーグルアウトフィッターズのFC店舗を展開しています。

中核部門であります(株)イーグルリテイリングにおいて、「アメリカンイーグルアウトフィッターズ」を5店舗出店したことなどから、売上高は91億74百万円(前年同期比162.5%)、セグメント利益(営業利益)は3億60百万円(前年同期はセグメント損失(営業損失)86百万円)となりました。

印刷・メディア事業

(株)アスコ

販促支援企業としてチラシやDMなど多様な販促サービスを提供しています。

売上高は53億53百万円(前年同期比101.2%)となる一方、印刷用紙など原材料価格の高騰などにより、セグメント損失(営業損失)は1億90百万円(前年同期はセグメント損失(営業損失)1億17百万円)となりました。

その他

青山商事(株)リユース事業 / (株)glob

青山商事(株)リユース事業は(株)ゲオが運営する「セカンドストリート」及び「ジャンブルストア」のFC店舗を、(株)globは(株)物語コーポレーションが運営する「焼肉きんぐ」等のFC店舗を展開しています。

(株)globにおいてFC展開しております「焼肉きんぐ」を4店舗、「ゆず庵」を1店舗出店したことなどから、売上高は21億12百万円(前年同期比130.7%)、セグメント利益(営業利益)は78百万円(前年同期比120.7%)となりました。

カード事業

(株)青山キャピタル

ビジネスウェア事業の販促支援として「AOYAMAカード」等のクレジットカードの発行及び獲得を行っています。

改正貸金業法等の影響などがある中、売上高は20億61百万円(前年同期比106.4%)、セグメント利益(営業利益)は6億70百万円(前年同期比128.1%)となりました。

なお、平成27年8月末現在の「AOYAMAカード」の有効会員数は394万人となりました。

雑貨販売事業

(株)青五

(株)大創産業のFCとして「ダイソー&アオヤマ100YEN PLAZA」を展開しています。

業界内の競争激化などにより、売上高は77億15百万円(前年同期比98.8%)となる一方、前期に不採算店9店舗の閉店を実施したことなどから、セグメント利益(営業利益)は2億93百万円(前年同期比116.8%)となりました。

なお、平成27年8月末の店舗数は119店舗であります。

	(単位：店)			
	出店	閉店	移転・建替	期末店舗数
ビジネスウェア事業	6	2	1	862
内 洋服の青山業態	4	2	1	804
内 TSC業態	2	0	0	58
カジュアル事業	5	4	0	48
内 キャラジャ	0	4	0	19
内 リーバイスストア	0	0	0	6
内 アメリカンイーグル	5	0	0	23
雑貨販売事業 <small>(ダイソー&アオヤマ100YEN PLAZA)</small>	0	0	0	119
その他	8	0	0	29
内 焼肉きんぐ	4	0	0	18
内 ゆず庵	1	0	0	1
内 セカンドストリート	2	0	0	6
内 ジャンブルストア	1	0	0	4
合計	19	6	1	1,058

(注) 洋服の青山にはNEXT BLUEを、TSCにはUL、BG、アウトレット店舗を含めています。

当社の業態とポジション

TREND

ユニバーサル ランゲージ
UNIVERSAL
LANGUAGE
(アウトレット含む)

[前期末比2店舗増]

店舗数 11店舗

ターゲット年齢 30代～

ザ・スーツカンパニー
THE SUIT COMPANY

(アウトレット含む)

[前期末比増減なし]

店舗数 43店舗(9月末)

ターゲット年齢 20代～30代



都心部を中心に展開するファッショントレンドを重視したスーツショップです。



ネクストブルー

NEXT BLUE

[前期末比増減なし]

店舗数 14店舗(9月末)

ターゲット年齢 30代～40代



商業施設を中心に展開。「進化するオフィスウェア」をコンセプトにメンズ&レディースの機能性ビジネスアイテムを取り揃えたスーツショップです。

BUSINESS

洋服の青山

[前期末比2店舗増]

店舗数 790店舗(9月末)

ターゲット年齢 20代～60代

スーツ販売着数世界No.1。紳士服販売を中心に全国展開し、幅広い世代からご支持いただいている青山商事の中核を担う業態です。



BASIC



「世界中をあなたのクローゼットに」というメッセージをこめた、都会の大人達のためのセレクトショップです。

(9月末)
40代

ブルー エ グリージオ
バイ ユニバーサル ランゲージ

Blu & Grigio

BY UNIVERSAL LANGUAGE

[前期末比増減なし]

店舗数 4店舗 (9月末)

ターゲット年齢 30代～40代



ユニバーサルランゲージのテイストに、リラックス感のあるリッチでマチュアーなカジュアルテイストをプラスしたマルチチャネル編集型のセレクトショップです。

その他の業態

セカンドストリート店舗数 6店舗
ジャンプストア店舗数 4店舗
リーバイストア店舗数 6店舗
(9月末)

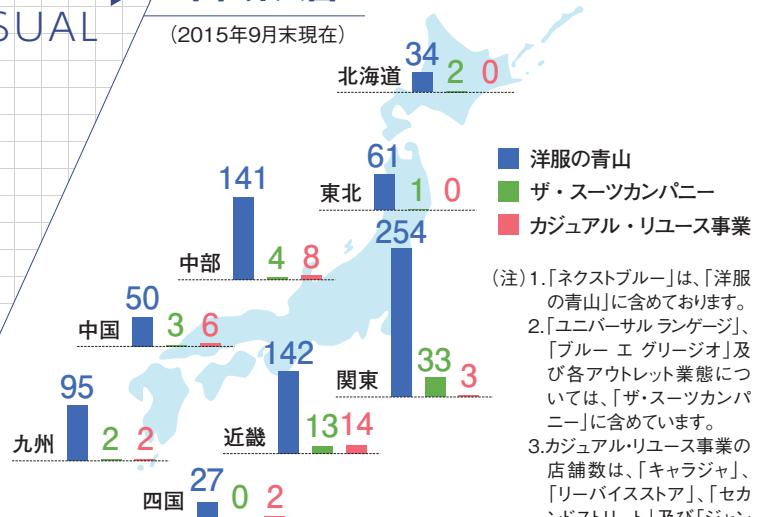


リユース事業として「セカンドストリート」「ジャンプストア」を、カジュアル事業として「リーバイストア」をそれぞれFC展開しています。

CASUAL

営業店

(2015年9月末現在)



- (注) 1.「ネクストブルー」は、「洋服の青山」に含めております。
2.「ユニバーサルランゲージ」、「ブルー エ グリージオ」及び各アウトレット業態については、「ザ・スーツカンパニー」に含めています。
3.カジュアル・リユース事業の店舗数は、「キャラジャ」、「リーバイストア」、「セカンドストリート」及び「ジャンプストア」の店舗数です。

キャラジャ
CALAJA CALAJA
CASUAL LAND JAPAN CASUAL LAND JAPAN

[前期末比4店舗減]

店舗数 19店舗 (9月末)

ターゲット年齢 20代～40代



性別を問わず、より良いものをより安く、トレンドからベーシックまで取り揃えたカジュアルショップです。

会社データ

会社概要

(2015年9月30日現在)

社名	青山商事株式会社	事業所	本社 — 広島県福山市王子町一丁目3番5号
設立	1964年5月6日	東京本部	— 東京都台東区上野四丁目5番10号 TSC TOWER 7階
資本金	625億471万円	TSC営業部	— 東京都渋谷区宇田川町21番8号 渋谷平和ビル6階
従業員数	3,785名(出向含む)	神辺商品センター/井原商品センター/田川商品センター/千葉センター	
		営業店舗数	897店舗(カジュアル・リユース事業35店舗含む)

役員状況

(2015年9月30日現在)

【取締役】

代表取締役会長	宮前省三
代表取締役副会長	宮前洋昭
代表取締役社長兼執行役員社長	青山理
取締役副社長兼執行役員副社長	宮武真人(企画管理本部長)
取締役兼常務執行役員	松川修之(営業本部長)
取締役兼常務執行役員	岡野真二(商品本部長兼カジュアル・リユース事業本部長)
取締役	内林誠之*

(注)※は社外取締役であります。

【監査役】

常任監査役(常勤)	大迫智一
監査役	大木洋*
監査役	竹川清*
監査役	渡邊徹*

(注)※は社外監査役であります。

【執行役員】

執行役員	平川省三(総務部長)
執行役員	藤井康博(開発本部長)
執行役員	藤井満典(販促部長兼NB営業部長)
執行役員	水谷修(TSC事業本部長兼TSC商品部長)
執行役員	前川義之(商品副本部長)
執行役員	四茂野聡(ITシステム部長兼情報セキュリティ担当)
執行役員	千葉直郎(東京本部長兼人材開発部長)
執行役員	財津伸二(企画管理副本部長兼総合企画部長)
執行役員	古市誉富(株式会社glob代表取締役社長)

株式情報

株式の状況

(2015年9月30日現在)

発行可能株式総数	174,641,100株
株主総数	5,897名
発行済株式総数	55,394,016株
自己株式数	694,969株 (1.25%)

(注) 株式給付信託 (J-ESOP) 制度に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行 (信託E口) が所有している当社株式 (185,900株) は含めておりません。

大株主

(2015年9月30日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
ICHIGO TRUST PTE, LTD.	4,982	9.11
日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	4,458	8.15
(有)青山物産	3,887	7.11
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	2,753	5.03
青山理	1,661	3.03
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,189	2.17
青山澄子	1,157	2.11
星野商事(有)	1,001	1.83
(株)三井住友銀行	1,000	1.82
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	859	1.57

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、当中間期末における発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合であります。

株主メモ

事業年度：毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会：毎年6月開催
 基準日：定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当金 毎年3月31日
 中間配当金 毎年9月30日
 (その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。)

単元株式数：100株
 公告方法：当社ホームページに掲載いたします。ただし、当社ホームページに掲載できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
<http://www.aoyama-syoyuji.co.jp>

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関：東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
 株主名簿管理人：大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 事務取扱場所：〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (郵便物送付先)：〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先)：フリーダイヤル 0120-782-031
 (インターネットホームページURL)：<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

株主優待割引券のご案内

毎年3月31日及び9月30日現在の当社の株主の皆様へ「株主優待割引券(15%割引券)」をご送付申し上げております。

株主優待割引券の発行基準

毎年3月31日及び9月30日現在の株主名簿に記載された株主各位に対し、そのご所有株式数に応じ、次のとおり株主優待割引券を発行いたします。



所有株式数

100株以上1,000株未満	3枚
1,000株以上3,000株未満	4枚
3,000株以上	5枚

有効期限

対象株主の確定日	郵送時期	有効期限
3月末日現在の株主	同年7月上旬	翌年6月末日
9月末日現在の株主	同年12月上旬	翌年12月末日

取扱い店舗

「洋服の青山(中国・台湾含む)」「ネクストブルー」「ザ・スーツカンパニー(アウトレット除く)」「ユニバーサルランゲージ(アウトレット除く)」「ブルーエグリージョ」 「キャラジャ」及び日本国内の「アメリカンイングルアウトフィッターズ(アウトレット除く)」にてご利用いただけます。

▶ 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

▶ 特別口座に関するお手続きについて

2009年1月5日より、当社をはじめすべての上場会社の株券は、一斉に電子化されております。これに伴い、従来の株券は無効となり、株主様の権利は電子的に証券会社を通じて証券保管振替機構(「ほふり」)で管理されております。また、株券電子化のお手続きがお済みでなかった株主様の権利は現在、三井住友信託銀行株式会社(特別口座の口座管理機関)の特別口座にて管理されており、お手持の株式を売却するには、証券会社に口座を開設し、特別口座から株式を振り替えるお手続きが必要となります。

詳しいお手続きに関しましては、左記の電話照会先をお願いいたします。

上場証券取引所：東京証券取引所(市場第一部)

「洋服の青山」のオンラインストア

「洋服の青山」ではオンラインストアも展開しております。オンラインストアと店舗、共通のポイントをご利用いただけるのはもちろん、便利な機能やオンラインだけの特典もございますので、オンライン会員登録もよろしくお願いいたします。



必要事項入力で簡単登録

必要事項を入力の上、ご登録内容の確認を行っていただき、完了ボタンを押していただくだけで会員登録が完了します。

便利なサービス »

ポイント1

試着予約サービス

オンラインストアの商品をご購入いただく前に、お近くの「洋服の青山」店舗でご試着いただくことができます。



ポイント2

マイサイズ登録

マイサイズ登録を行えば、自分の体にあう商品のみを検索結果に表示させることが可能です。



ポイント3

店舗在庫検索

「取り扱い店舗を探す機能」を使えばお店の在庫が確認できます。



<http://store.y-aoyama.jp/>